

3月3日はひなまつり

ひなあられを作ってみよう

◎由来

・3月3日にひな祭りをするのは、昔の中国ではその日に手足を洗って悪いことを祓っていたことがきっかけとなっています。

・日本では手足を洗うのではなく「流し雛」といって紙人形に災いを背負ってもらって川に流すという風習がありました。

・時代が流れるにつれて、流し雛の代わりにそのお雛様を家に飾って女の子の成長を願うお祭りになったのです。



【材料】(作りやすい分量)

- てまり麩 20g
- 砂糖大さじ3
- 水大さじ1



- ① フライパンに分量の砂糖と水を入れ、中火にかけます。時々木べらでかき混ぜてください。
- ② 大きな泡がブクブクと出るようになったら、てまり麩を入れて、火を止め、木べらでかき混ぜます。てまり麩を入れてすぐはベタベタとした感触で、表面がピカピカしています。これで手を止めずに、しばらくかき混ぜると、ガサガサとした感触になり、表面に砂糖衣が付きまます。ここまでしっかり混ぜ続けましょう。
- ③ 麩のまわりが白くなり、くっつかなくなったら、できあがり。

うたってみよう

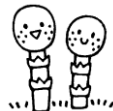


おはながわらった

作詞：ほとみ こうご
作曲：湯山 昭

おはながわらった おはながわらった
おはながわらった おはながわらった
みんなわらった いちどにわらった

おはながわらった おはながわらった
おはながわらった おはながわらった
みんなわらった げんきにわらった



春を感じる絵本の紹介



野の花えほん ～春と夏の花～

作：前田まゆみ

出版社：あすなる書房

すみれ、れんげ、なすなど、春から夏にかけていっせいに花開く野の草花を優しい色で丁寧に描かれたイラストで紹介。花や葉を使った遊び、実の美味しい食べ方など、草花の様々な楽しみ方がつまった絵本です。



はなをくんくん

文：ルース・クラウス
絵：マーク・シーモント
訳：木島 始

出版社：福音館書店

静かに雪の降る森の中、動物たちは体をまるめて冬眠中です。野ねすみも、くまも、ちっちゃなかたつむりも、りすも、山ねすみも、みんな目を閉じてぐっすり……。おや？ でも、目を覚ましたようです。そして、ちょっぴり寝ぼけまなこで鼻をくんくん、何かに向かって走り出しました。いったい、何が起きたのでしょうか……。